

四 恩 園



会える
よる
とび

大切にしたいもの

社会福祉法人 北海長正会

常務理事 中川 浩一

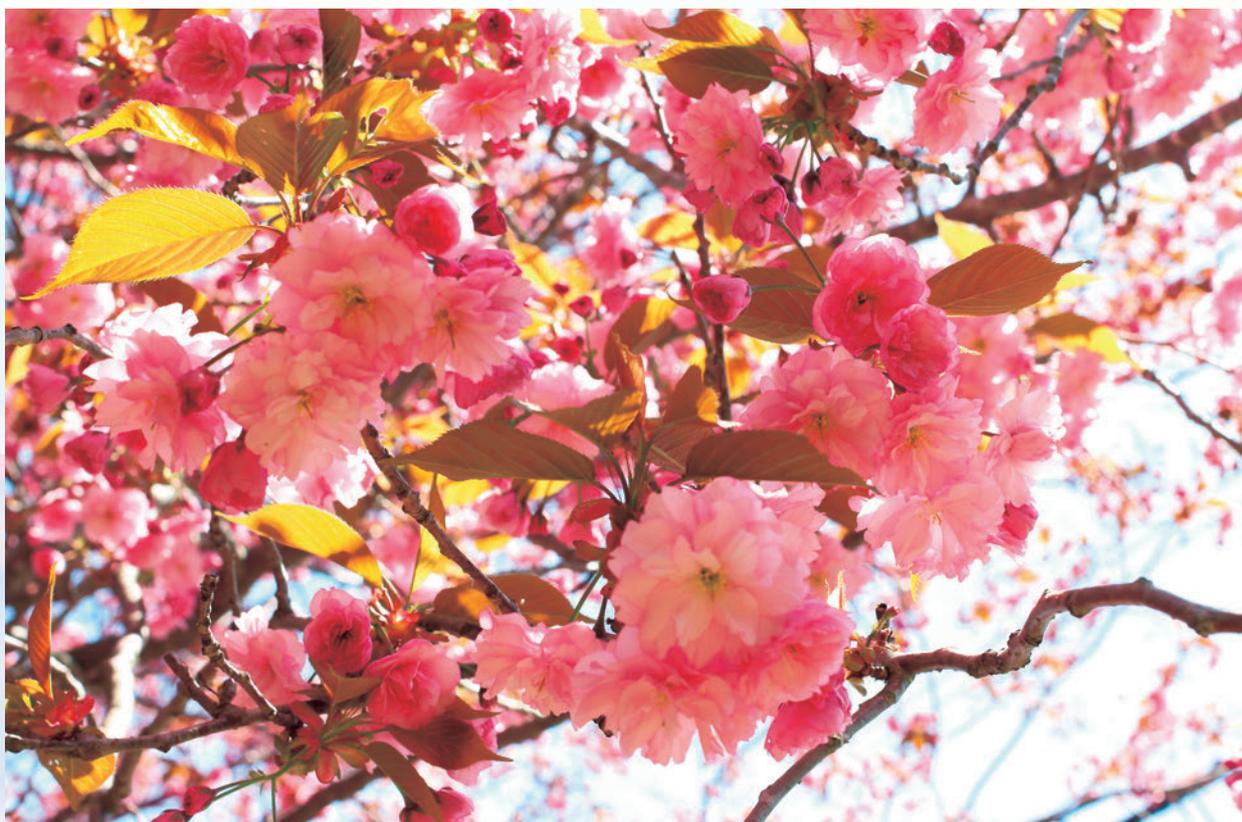
日頃より、当法人に対し、ご支援、ご指導をいただき心より感謝申し上げます。

さて、オミクロン株は全国に瞬く間に拡がり、北海道においては二月、一日の新規感染者が四、〇〇〇人を超える事態となりました。もう二年以上も感染の波が繰り返されていきます。「いつたいいつになったら……」という思いです。

当法人では、昨年十月、コロナ感染者の減少に伴い入所施設（特養部四恩園・グループホーム四恩園・北広島リハビリセンター）において面会を再開し、また、地域交流事業（ふれて・ともに・みなみ）については利用の制限を解除し、可能な限りコロナ感染が流行する以前の状態に戻す取り組みを行いました。当法人のサービスを利用されるお客様の

「家族と会いたい」、「皆さんとお話したい」という声に応えたものです。「やっと家族と会えました」「久しぶりにお友達とお話できました」等、お客様からたくさん喜びの声を頂きました。当時は残念ながら短期間となってしまうましたが、私たち職員は「家族の絆」や「人と人との繋がり」の大切さをあらためて感じた次第です。

「自由であること」と「安全であること」、私たちが提供するサービスではどちらも大切なことと考えています。コロナ禍での生活はいつか終わりがくると信じています。面会・交流事業の再開に向けては、これからも慎重にバランスを取りながら進めて参りたいと考えております。引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



事業所紹介

デイサービスセンター四恩園

当たり前前のごことを当たり前前以上に、 そして挑戦し続けられるデイサービスを目指して

「当デイサービスは、入浴・お食事・排泄等の介助機能訓練や各種体操、脳トレやカラオケ、レクリエーション等のプログラムをご用意しています。」と聞くと、「このデイサービスも同じじゃないか、当たり前じゃないか。」とお感じの方は少なくないと思います。デイサービスセンター四恩園は、その「当たり前のごことを当たり前以上にすること。」を目指し取り組んでおります。



入浴・お食事・排泄等の介助については、お客様お一人お一人の持っている力を十分に發揮して頂くため、デイサービス所属の作業療法士が機能訓練として評価を行い、職員の立ち位置に始まり、声のかけ方とタイミング、支え



能訓練としてのアプローチにより左側から介助することでおむせずに食べられるようになったという例もよくみられています。

各種体操については、身体機能の維持向上を目的とした運動はもちろんの事、普段慣れない動きで脳を混乱させ、更に効果的な刺激を与えることで脳の機能を高めることを目的とした「シナプソロジー®」を、インストラクター資格を取得した職員が中心となって実施しております。取り組まれるお客様の中には途中で諦めてしまわれる方も見受けられますが、職員が都度

丁寧にアドバイスしていく事で、気分や意欲の低下改善や認知機能の維持向上も目指し根気強く取り組んでおります。また二〇二二年度は、関節に負担をかけない座ってできる有酸素運動「すわロビ®」を導入し、心肺機能と体力の維持向上も目指す予定です。デイサービスセンター四恩園は、「新しいことに挑戦し続ける」事業所でもありたいと考えています。

る手の力加減に至るまで、こだわりを持って関わらせて頂いております。お食事の時、右側から介助するとおむせしてしまっかなか食べられない方が、この機

当法人の基本理念の一つに「信頼は接し方から」という項目があります。介護は人と人との関りから成り立ちますが、「信頼」とは目に見えなく数値化が難しいものであるため、この理念の達成感実感しにくいものでもあります。更に介護サービスと言う事を考えた時には「どんなサービスを提供するか」という事も重要であります。「どの人が提供するか」という視点もまた重要な事だと考えています。私たち職員一同は、「介助のプロ」であると同時に、「接遇のプロ」であることを常に意識し、目には見えない「信頼」を感じていただくために、全ての職員が、お客様やご家族様に選ばれる「この人」になることを目指していきます。



お客様座談会

みんなと会えて 話せて良かった！

～お客様の井戸端会議で聞いた、
「ここが気に入って四恩園へ通っています！」～



デイサービスセンター四恩園は、1995年開設以降、沢山のお客様にご利用いただいています。お客様の中には、約20年も利用されている方もいらっしゃる、デイサービスを毎週ご利用される事で心身機能を長らく維持されている方もいらっしゃいます。また、加齢やご病気により在宅生活が難しい心身機能になってしまった場合であっても、同法人で特別養護老人ホーム、グループホーム、複合型サービス、サービス付き高齢者住宅があり、そちらへ移られる方もいらっしゃいます。ご家族からは「四恩園は色々な施設があるので最期まで面倒を見てもらえる。やはり四恩園して良かった。」というお声も多く聞かれております。

デイサービスセンター四恩園では、昼食後日当たりの良い窓際で女性のお客様中心に数名集まって楽しいお話をされています。本日は中でも毎回笑い声が絶えないグループの皆様にお話を伺いました。

●戦争という大変な時期を乗り越えて、今の絆がある

T様…いやー、今は私たちの夫が大正十五年の寅年生まれだっという話で盛り上がったのよー。

K様…寅年生まれは頑固だっって話してたんだよね。

(一同大笑い)

S様…頑固だけど、物は粗末にできなかったよね。もったいないもったいないって。

H様…うちのお父さんは寅年じゃないけどね。丑年だったわ。

T様…丑年だったら、どっしり構えていたでしょ。

K様…丑年生まれはまじめで辛抱するっていうから。

H様…確かにまじめで辛抱強い人だったわ。ロシアで捕虜になってたっって言ってたからね。私と出会う前だから、その時の話は知らないけどね。

T様…こうやって似たような時代を過ごしてきた者同士で話ができるのは楽しいよね。

I様…私は昭和十六年生まれなのよ。

T様…十六年つたら十年くらい違うね。私なんて昭和七年生まれって言ってもみんなから若いって言われるよ。ここでしか若いなんて言われなからね。

H様…十六年生まれだったら戦争も知らないんですよ。

●デイサービスセンター四恩園を利用のきっかけは現在

T様…私は隣の奥さんがいつもバスで出かけていて「楽しいよ」って誘ってくれたから、父さん(ご主人)と一緒に試してみるかって。他の施設も見学したんだけど、あまり良い感じを受けなかったの。他の所も見せてほしいって頼んでここにきた時、桜の景色が素晴らしくて、皆さんが明るく体操をしていて、広いし、明るいし、楽しそうだなって思っってここに決めたの。それから十年になるよ。

私、夏の暑い時以外毎月燻製卵を作ってるんだけど、茹でた卵の皮をむいて、味をつけて、燻して、全部で三日かけてできた卵をタオルで磨いている時に作ってよかったなあと満足するの。目が悪くなってから燻すところだけは娘にお願いしてるけど、それ以外は全部私がやっていてね。燻す臭いがしたら近所の人やネギとか持ってくるから、卵をあげるのよ。そういう楽しみが続けられるのもここに通ってるからなんだと思ってる。父さんが死んで、もうできないかなって思ったけど、ここにきてお友達や職員さんに会ったらま

たやる気にならずと続けているの。許されるならみんなにも持ってきて食べさせてあげたいよ。二年前まではカーテンを洗って、重いのを持って二メートルの高さの所にかけたからね。ここにきてなかったらそんなこととつく前にできなくなってたよ。

S様…私はお父さんが死んで誰もいなくなっちゃってからって娘の所に引っ越してきて、そしたら娘が「行ってみたら？」って。娘と一緒に家にじっとしてるより出かけた方がいいんじゃないかって思ったんだろかね。全部娘に任せっきりだけど、ここに来たら新しい話も聞けるし、いるだけで運動にもなるし、私にはいいと思うけどね。

K様…ここに来てたらトイレに行くっていつでも運動だからね。

H様…確かに家にいる時よりずっと歩いてるわ。

T様…私は歌も作って新聞に出しててね。そういえばこの前二週連続で新聞に載ったんだよ。ここで友達



今日の食事もおいしいです！



脳トレも役立ちます。

や職員さんが楽しみにしてくれてると思ったら歌も浮かぶようになったみたい。年をとってからの友達ってこういうところに来ないとなかなかできないよね。

K様…私は前に体調を崩した時があつて、その時に娘が「一人でおいっておくのも……」って今とは違う小さいデイサービスに行くことになったの。お弁当を週三回とって、ヘルパーさんが週一回掃除に来てくれてるんだ。だって掃除機をかけようとしても私が掃除機に負けちゃうんだから。前に行ったたデイサービスが十人くらいの小さな所で、コロナのこともあつてか無くなるっていうからここに来ることになったんだ。ここは人数が多いから無くなりほしくないだろうって。この前、ビデオを送ってくれた幼稚園の園児さん達に折り紙のコマをプレゼントしたいって作ってたから、昔作ったのを思い出して家で沢山作ってきたよ。喜んでくれるといいな。

H様…私たちはここができる前からこの場所を知ってたんだよ。リハビリセンターができるって前から、婦人会で見学してきた

の。Kさんも一緒にね。この前のもちつきでは久しぶりにもちつきを食べておいしかったよ。娘が「家じゃ喉つまりが心配で食べさせられないから食べさせてもらえて良かった。」って喜んでたよ。

T様…ここはご飯がおいしいって評判だよ。私、つゆまで全部残さないで食べるよ。メニューを覚えていって家で作ることもあるよ。今日は豚肉とナスを炒めたやつが美味しかったからみそ味だったって覚えて帰るよ。

S様…ごはん、私には量が多いなって思うけど。おつゆの出汁が美味しいからおつゆは全部飲むよ。

I様…ごはんは美味しい。私にも多い。

K様…あら、私は全部食べれるわ。

T様…この職員は物の言い方をくずさないのいいよね。「お風呂入るよ。こっちだよ。」みたいに言われるデイサービスもあるって聞いたけど、ここはやさしく肩に手をかけて挨拶してくれるんだから。男の人がお風呂に入れてくれる所もあるって聞いたけど、ここではそんなこと



仲よし5人組で話すのが楽しみです。

ないね。いくらばあさんでも男の人に手伝わらなくても嫌だって。私、ここに来るときいつも何話そうかなって考えてくるんだ。昔の面白い話を思い出したりしてね。ここで楽しい話ができるのが楽しみなんだ。面白い話をしたらみんな身を乗り出して聞いてくれるから。来週もまたみんなでこうやって面白い話をしたいね。



地域サポートセンターともに・地域交流ホームふれては、新型コロナウイルス感染対策のため、2020年2月26日より休館とし一般開放を休止しておりました。昨年秋頃より、新型コロナウイルスの感染人数や重症化率が落ち着いた事を受け、昨年11月15日より12月24日まで、ともにふれてを短期間開館していました。

地域サポートセンターともに

地域サポートセンターともにでは、十二月一日にオープンした喫茶コーナーで美味しそうにコーヒーを楽しむご婦人の方々、宿題を持ち寄って遊びに来る小学生の姿、体育館でスポーツに汗を流す少年団の子どもたちの姿に、コロナ前のにぎわいが戻ってきました。私たちもこの活気に元気を頂く事ができ、とてもうれしく思います。



3人で勉強すると楽しいです。

(ともにで早くも冬休みの宿題をしていたことりちゃん、ちさとちゃん、すずねちゃん) 今は冬休みの宿題の漢字や分数の勉強をしています。今まではずっと家でゲーム通信やZoomを使って三人でやりとりしていたけれど、Zoomは不具合が多くてやりにくかったです。同じ小学校でも三人とも家が離れているので、ふれてやともにに来れるようになって三人で勉強をすると、嫌な勉強でも楽しくできています。

すのっていいね!



ショッピングつむらの新鮮野菜トツゲキ隊

地域サポートセンターともに・地域交流ホームふれては、この先も新型コロナウイルス感染状況等を踏まえて開館や閉館が決定する事で皆様にはご迷惑をお掛け致しますが、また皆さんと「やっぱり会って話すのっていいね!」と談笑出来る日を心待ちにしております。



感染対策を万全に

ともに・ふれてが再開館する直前の昨年十一月十一日〜十二日、例年行っている家庭での感染対策のミニ講座に加え、喫茶を担当して下さっている市民スタッフの皆様へ、飲食物を提供する際の消毒方法等を実践する研修が行われました。講師の説明を聞きながら喫茶コーナーへ入った時の手袋の装着や、テーブルの消毒方法等皆で実践しました。また、館内には非接触型検温機や、各テーブルにアクリル製のパーティション、座席数を減らす、来館者に名簿記入のお願い等各所に感染対策を施しております。



講師からの話を真剣に聞きます。

テーブル消毒の手順を確認します。

地域交流ホームふれて

地域交流ホームふれてでは、いきいき百歳体操も再開され、久しぶりに会ったメンバーが笑顔で挨拶を交わし、皆で楽しく体操をしています。また新たなメンバーも参加され、体操後は喫茶スペースでお話をしながらお茶を飲むのが楽しみなとなっています。

(いきいき百歳体操に参加されているメンバーの皆さん) ずっと体操が再開されるのを待っていました。コロナの感染人数が多い時はどこ



市民スタッフ、仲良し3人組

にも行き場所が無く辛かったです。やっぱり人と会って話すのってとても良いですね。皆と顔を合わせて体操ができるので、これがとても楽しみです。



お花のお手入れ、ありがとうございます！ 休館明け、大忙しです！



「やっぱり会って話

2021年末の地域サポートセンターとともに・地域交流ホームふれての様子



ミニ講座「遺言」の事を勉強しました。



家ではできない体操も皆と一緒にやる事で体が動きます。



皆で宿題するとはかどりそうです。



久々のコーヒータイムに笑顔です。

ふれてが開かないとなかなかみんなで集まることができません。早くみんなで集まってお茶したいですね。

みんなでお味噌づくりをまたしたいです。

子どもを連れてママ友とゆっくり話がしたいです。

体操に行ったり、ミニ講座を受けたり私にとって刺激をもらう場所でした！

キッズコーナーで小さい子どもに会えるのが楽しみでした。

閉館中は市民スタッフの皆様や地域の皆様、様子を見にわざわざ足を運んでくださる方からも「まだ開館しないんですか？」というお声を度々頂戴しております。本当にありがとうございました。お言葉だと受け止めております。ともにふれてでコーヒーを満喫しながらみんなで談笑するという当たり前の日常が一日でも早くに取り戻せますようにという願いも込めて、開館して欲しいと言った声や、開館になったらどんな事をしてみたいか聞いてみました。

開館になったらみんな会いたい！

私の羅針盤

～あの時指した光の先へ～

二〇二一年入職 特別養護老人ホーム四恩園 福田麻璃花



一人の祖母に接し抱いた想い

私は小さい頃、実家の安平町で父方の祖母と二世帯で済んでおり、父は単身赴任で母も働いていた為、祖母と過ごすことが多くご飯を食べたり寝たりを共にしていました。畑仕事やお出かけなどもいつも一緒に行動しており、私が祖母のお手伝いをして喜ぶ顔を見ることが好きでした。

一方で私が小学四年の頃、網走の母方の祖母が認知症で施設入所することになり、施設を面会に訪れた際に手足を縄で縛られている高齢者の方が多くいました。この光景は小学四年の私にとって衝撃的なものであり、「何でこんな事をしないとイケないのか？」と嫌な気持ちで一杯になった記憶が焼き付いています。

両方の祖母の事を見ていて、高齢者の方々は苦しい顔をするよりも喜んで笑みを浮かべる人生を

過ごして欲しい、自分が寄り添ってそのお手伝いをしたいと思い介護福祉士として将来働きたいと思うようになりました。

まっすぐに介護福祉士を目指して

小学校のころから介護福祉士を目指していた私をみて母が高校を探してくれ、高卒で介護福祉士を取得できる置戸高校に入学をしました。親元を離れ寮に入り、同級生とともに国家試験合格の為に勉強に励みました。実習では介護の難しさや高齢者の気持ちの深さを痛感しましたが、高齢者の方々の喜ぶ顔を見る事でより一層介護職員として働きたいと強く思うようになりました。

お客様の喜ぶ顔を沢山見たい

就職し特別養護老人ホームの介護職員として勤務している今、沢山の高齢者の喜びに満ちた笑顔に接しています。また高齢者施設への思いについて、私の勤務している職場を子供の頃に見た衝撃的な光景と同じようにはしたくないと心に強く誓い、お客様自身を一番にその人らしい生活が出来るような支援をする場でありたいです。私もお客様の施設での生活がより豊かなものになるために、したいことを出来る限りかなえられるようにお手伝いをしていきたいです。

働き始めは不安も多くなりましたが、今では少しずつお仕事にも慣れ、お客様とお話する機会も増えてきました。お話をすることでお客様との距離も近くなりお客様の笑顔を見る事も多くなりました。技術の向上はもちろろんお客様とのコミュニケーションを増やし笑顔を引き出せるよう日々成長していきたいです。

●発行者 社会福祉法人 北海長正会
●住所 〒061-1153
北広島市富ヶ岡509-31
●TEL (011)373-6655
●FAX (011)373-6611

●ホームページ <http://www.shionen.or.jp>
●E-mail tokuyo@shionen.or.jp
●編集発行 広報委員会
●編集発行責任者 理事長 三瓶 徹
●発行日 2022年5月

